

秋田県青少年健全育成審議会 平成29年度第1回環境浄化部会 議事概要

日時 平成29年7月18日（火）午前10時55分～午前11時58分

場所 秋田地方総合庁舎 6階 総607・608会議室

1 出席者

○ 秋田県青少年健全育成審議会委員（敬称略、五十音順）10名

石 川 信	秋田県書店商業組合 監査役
石 塚 弘 子	秋田県警察本部生活安全部少年女性安全課少年サポート係長
伊 藤 一	秋田市立日新小学校 校長
小 椋 富 二	秋田県立大曲高等学校 校長
鈴 木 朋 子	元秋田県高等学校PTA連合会 副会長
関 谷 益 実	秋田少年鑑別所 所長
高 橋 秀 晴	秋田県立大学 教授
中 島 亜花莉	秋田県BBS連盟 会員
野 崎 一	秋田県PTA連合会 顧問
三 浦 基	青少年育成秋田県民会議 会長

○ 事務局

次世代・女性活躍支援課

主幹（兼）班長	藤 原 淨
同課主幹	大 島 ヒロ子

1 議事（事務局から継続審議の説明）

前回の平成28年度第4回環境浄化部会で継続審議になっておりました、「有害図書」の名称を「不健全図書」に変更したいとの答申が可能か否かについて、審議会として条例に対する問題提起するか否かについてですが、事務局としましては、諮問しないことといたしました。

秋田県の条例には有害図書という名称が頻繁に使われております。そのほかに、有害興行、有害広告物など、図書以外にも有害という言葉は使われていますが、その前には青少年に有害なという言葉が使われています。全国を見ますと、42府県で有害図書という言葉が使われており、4都県では、不健全な図書、指定図書、販売制限図書と別名が使われているところもあるということなどを参考に、前回の審議会では議論をして頂きました。

平成28年度第3、第4回の環境浄化部会で本件が意見として出され、第4回審議会閉会后、前事務局の男女共同参画課で検討した結果、諮問ありきの答申であり、知事名での諮問はしないことに意見がまとまっております。

条例の改正は、法等の改正、世論など改正の必要性が必要であり、本意見は必要性ま

では至らないと判断いたしましたことをご報告いたします。

本日は、部会委員11名中、10名の出席で、過半数を超えておりますので、部会での議決は成立します。規定によりまして、部会の議決は、審議会の議決となります。

以後の進行は部会長にお願いをいたします。

- 事務局から説明ありましたとおり、有害図書の名称について、これまで委員の皆様からご意見があり、賛否両論ございましたが、事務局には丁寧に対応して頂き、このように至ったということになります。

2 議事（審議）

- 優良図書1冊、有害図書5冊を諮問。

【優良図書】

- 優良図書から審議しますが、これに関しては事前に審査していただいております、全ての方が優良可とされております。

補足意見として

- ・ 本物の自然との正対、様々な人々との出会いを通じて主人公が内面的に成長していく過程が丁寧に綴られている。主人公に深い影響を与えた人々にもそれぞれ先達がいたことが語られていて、先人の教えが継承され、発展していく様子がしっかり書き込まれている。良書である。
- ・ 夢に導かれた旅であった。でもそこには、大学時代に培われた自然との共存があり、思いを達成していく、青少年に大志を抱かせる作品である。ただ、活字離れが懸念されている青少年にこの厚い本を手にとらせることができるのか？もっと手軽な本を選んだ方が良いのではないか・・・とも思う。
- ・ 普通の日常の中に夢や未来への道があり、そこに向けて一步一步を進めていく事が、たどり着くための最短の道であると実際に経験したことを集めながら伝えている。

とありました。

いきなり大冒険をして成功というのではなく、階段を登っていきながら行くというのが良いということでした。

- 本が厚過ぎるとのご意見がありますが、いかがですか。

→(委員)

確かに厚い本です。また、活字が小さいと思いましたので、この意見に少し賛成です。

- 文字の細かさでいくと、活字を大きくすると、本はもっと厚くなるということになりますが、いかがでしょうか。

→(委員)

対象年齢の幅が広いのですが、年齢のバランスを考えながら、推薦をしている

のでしょうか。

- 推薦された図書の、対象年齢の考え方等について事務局についてうかがいます。

→(事務局)

対象年齢は、小学生、中学生、高校生であることを伝えて推薦をお願いしています。

今回の御意見も含め、再度、偏りのないように推薦をして頂くよう依頼します。

- 再度確認し、依頼するということによろしいでしょうか。

ほかに、何か御意見はございますでしょうか。

→(委員)

私の方から2点申し上げます。

この本は大竹英洋さんが自然写真家に成長していく過程を描いている本ですが、若かった彼は自分が憧れているアメリカ在住の自然写真家ジム・ブランデンバーグに会おうと、アポをとることもなく、旅に出かけます。当のブランデンバーグは、突然の訪問にもかかわらず、大竹さんが真面目で見所のある青年であることから好意的に対応してくれて、その繋がりにより、大竹さんは内面的に成長するとともに自然写真家として生きていくことを決心するようになります。

しかし、ブランデンバーグには、先人として、日本人自然写真家である星野道夫がいるわけです。

この、星野道夫ーブランデンバーグー大竹英洋、という系譜が、社会で大切なものが引き継がれていく様子を描いていて、とても良いと思いました。立派な仕事をした人がいて、それに感化される人が出てきて、またそれに大きな影響を受ける人が出てくるという社会の中の文化の継承というテーマが書き込まれています。

子どもたちが夢ということを小学校段階から語るわけですが、自己利益の追求というか、経済的に豊かになり、社会的に高い地位に就くことが主な関心になってしまっているようなきらいがあるように思います。

この本では、そういうことではなく、世の中には長きに亘って引き継いできているものがあり、その恩恵により今の自分があり、当然の義務として自分が受け継いだものを自分なりに豊かにして次世代に伝えていくのだということが丁寧に描かれていて、とても読み応えがあると思いました。

もう一つは、先ほどから、文字の大きさ、長さの話が出ていますが、文字を大きくするともっと厚くなってしまうので、私はこれで良いと思います。

今は、ガラケーやスマホが普及し、手紙やはがきも書かなくなっており、電話番号さえも覚えなくてもいいようになり、頭脳が楽をしています。

400ページのものより100ページの方が読むのには楽だが、長編だからこそ、感じられる良さというのもありますので、単純化して短く表現すると、多くの体験の良さ、中身の濃さが十分に伝わらないで終わってしまうので、必要以上に、文字の大きさや厚さを意識する必要はないと思います。

- 本が厚く、文字が小さいとハードルが高くなって読む人が少なくなるという心配する意見と、読みやすさ、手にとりやすさだけに固執するのも問題ではとの意見がありました。それについて何か意見はありますか。

→(委員)

若い人は、スマホを多く見ているのが気になります。この本は、表紙がきれいなのに、中はモノクロなので、写真に興味湧いてもっと見たいと思ったり、写真集を紹介しているのでこの本をきっかけに自然に興味を持つというのも良いのかなと思いました。タイトル自体を見た時、青少年が今やりたいことはあるが踏み出せない人からすると、踏み出すきっかけになるのではないかと思い、良い本だと思います。

- 様々なツールの橋渡しになるということですが、いかがでしょうか。

→(委員)

どんなに良い本でも、読んでもらわないことにはその先がないと思います。

次は今回のような本を読みたい、と思うきっかけとなるような軽い本であっても良いと思いました。

- 様々な意見がありました。いずれ反対ではないということです。

ほかには、いかがでしょうか。

→(委員)

我々世代は、活字の方が良いと思うところもありますが、スマホから入る人もいます。クリエイティブな世界なので、難しい夢や、そちらをめざす人、進みたい人には良い本だと感じました。

→(委員)

写真家の話なので、日常のサラリーマン等の話と違って、最初は参考にならないのかなと思ったが、意外と何かを成し遂げるためには地道に努力が必要であり、人との関わりが大事であり、踏み込んで自分のものにしていこうとすることがあったのではないかと感じました。

最初は戸惑ったが、読んでいくうちに、自分で映像化しながら想像して読むことができてお奨めだと思いました。

- 結論は全員一致で良書ということですが、結果に至るプロセスについて様々な見解があり、貴重な議論となったと思います。

読まなくなっているからこそ読みやすいようにという方向性と、だからこそこういうところでは普段手には取らないような本を推奨するという考え方の両方があるということで、更に考えていく必要があるかなと思いました。

今の教育現場のキャリア教育、つまりキャリアデザインを描いて、ありたい自分に向かってどのように準備を進めていくかという流れからすると、作品の設定は乱暴ですが、個人的には、思ったようにいかない場合の対処法をどうするか、若い10代、20

代の判断で未来を決めてしまって、そのための準備に人生を費やすことにどういう意味があるのかを考えてしまうので、そういう意味では教育効果が大きいと思いました。

こういう選択のありかたを知った上で、地道に大企業に就職しようとする自分は何なのか、逆に相対化してくれるという作用があると思います。そういった点で、考える素材を与えてくれる良書であると思いました。

【優害図書】

- 次は、有害図書ですが、今回は5冊です。

～有害図書審査～

- 有害図書の審査が終わったようですので集計結果をお願いします。

→ (集計担当委員)

2番のお宝ガールズブラッシュ2017初夏特大号について、総合意見で指定の必要無しとされた委員がお一人おります。

5番のSPCOMICS必殺くノ一仕置人について、総合意見で指定の必要無しとされた委員がお二人おります。

そのほかの3冊は全ての委員が指定対象としています。

→ (委員)

私は、2番、5番について、指定は必要ないと考えました。

2番については、盗撮なども連想させるとも考える一方、この様な内容であればよくあるのではないかと思います。

5番については、このような描写は、よくあるのではないかと思います。

→ (委員)

私は、5番について、裸の絵は多いが、時代劇の描写によくありそうだと思いますので、指定は必要ないと考えました。

指定に迷う図書もありましたが、DVDが付いていたり、袋とじもありましたので指定としました。

- 指定までは必要ないのではないかという意見がありましたが、本日は過半数を超えておりますので、総合的には指定ということによろしいでしょうか。

→ (全委員)

異議無し

- それでは、先ほどの推奨図書と、さらに、今回諮問された図書5冊は全て有害図書の指定の必要有りとして知事に答申することにいたします。